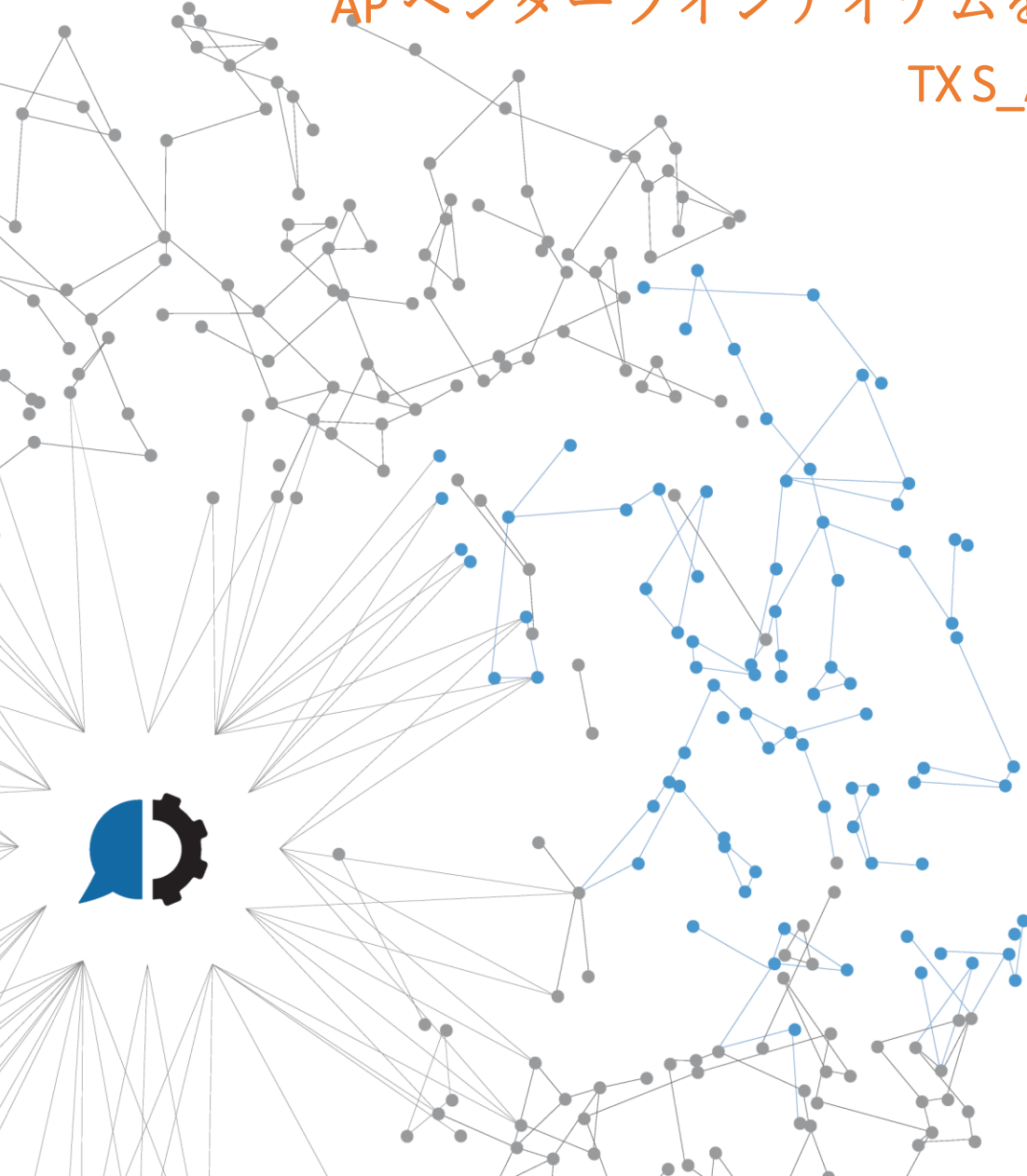




SAP BOT

AP ベンダーラインアイテムを EXCEL に変換

TXS_ALR_87012103





目次

概要	3
必要要件	4
AUTOMATE タスクのインポート方法	7
「AP ベンダーラインアイテムを EXCEL に変換 TXS_ALR_87012103」の実行方法	8
付録 A – SAP トランザクションと EXCEL の出力例	10
付録 B – トラブルシューティング	11



概要

このHow toガイドでは、「SAP Bot - AP ベンダーラインアイテムを Excel に変換 TX S_ALR_87012103」をご紹介します。繰り返しの多い手作業に貴重な時間とリソースを費やす代わりに AutoMate に任せて、RPA による自動化で IT とビジネスプロセスを合理化しましょう。AutoMate の支援により、ボットが手作業を代行することで反復作業を大幅に減らし、作業の品質と一貫性を向上させることができます。自動化されている主なプロセスは、レポート作成、ファイル移動、データのインポートとエクスポート、バッチ処理のスケジューリングです。

SAP Bot - AP ベンダーラインアイテムを Excel に変換 TX S_ALR_87012103は、SAP Transaction TX S_ALR_87012103 を実行して Vendor Line Items のリストを取得し、結果を Excel ファイルに書き出します。ベンダーアカウント、会社コード、ポスト日付(from and to)を設定することができます。

SAP トランザクション画面:

< SAP List of Vendor Line Items

✓ [dropdown] [save] [refresh] [print] [search] [Data Sources] [Cancel] [More] [Exit]

Vendor selection

Vendor account [input] [icon] to [input] [icon]
Company code [input] to [input] [icon]

Selection using search help

Search help ID [input]
Search string [input]
[Search help]

Line Item Selection

Status

☐ Open Items
Open at Key Date [28.01.2020]

☐ Cleared Items
Clearing Date [input] to [input] [icon]
Open at Key Date [input]

☒ All Items
Posting Date [input] to [input] [icon]

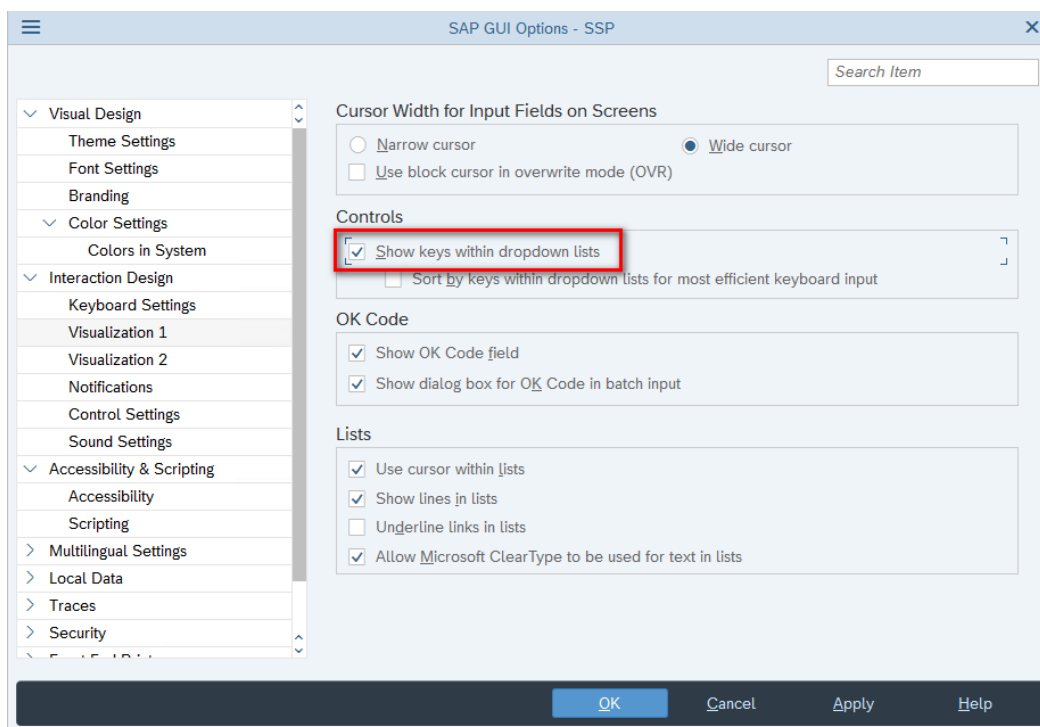
Type

☒ Standard Documents
☐ Parked documents



必要要件

- **AutoMate:** SAP BOT ボットは動作に AutoMate を必要とします。最低限サポートされているバージョンが以下の通りです:
 - [Automate Ultimate 11.2](#)
 - [Automate Plus 11.2](#)
 - [Automate Desktop 11.2](#)
- **AutoMate Markup Language file (.AML):** SAP BOT ボットタスクのステップを含む AutoMate で使用される主要なファイル形式
- **SAP クライアント:** 最低限必要なものは
 - [SAP Logon 760](#)
 - ドロップダウンリストにキーを表示する機能が有効である



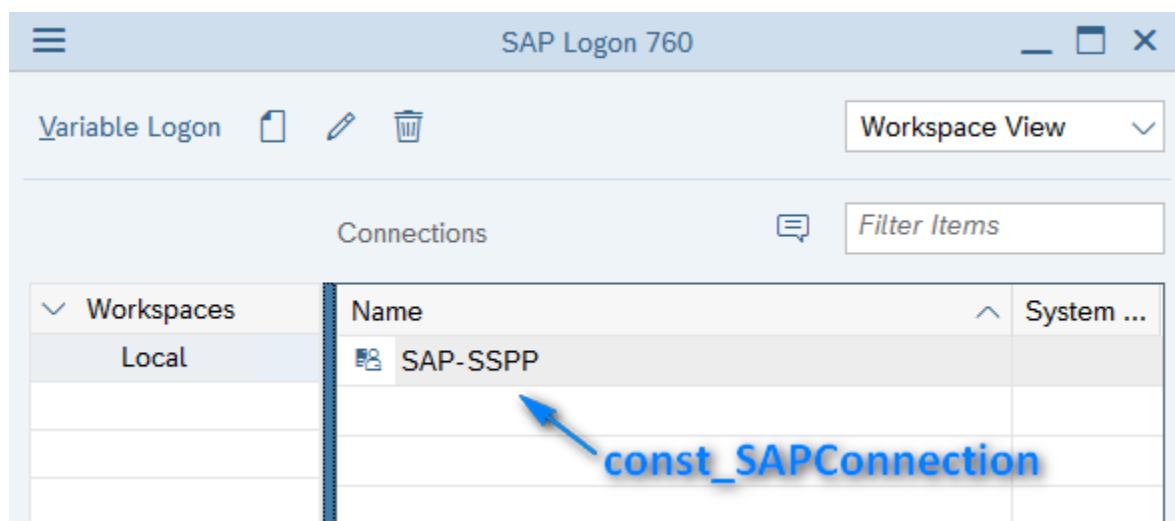
- XD01トランザクションを実行するのに十分な権限を持つユーザー

このトランザクションおよび任意のトランザクションを実行するために必要なレベルの権限を持っているかどうかを確認するには、SU53を使用します。TX S_ALR_87012103を実



行し、その直後に/NSU53を実行します。チェックしたすべての権限のレポートが表示されます。

- Automate constants for connection and SAP Login:
 - `const_SAPClientNumber`: SAP クライアント番号。デフォルト : 001
 - `const_SAPConnection`: SAP ログイン接続名
 - `const_SAPLanguage`: SAP 言語。デフォルト: EN
 - `const_SapLogonPath`: SAP の実行可能なパス。デフォルトでは
C:\Program Files (x86)\SAP\FrontEnd\SapGui\saplogon.exe
 - `const_SAPPassword`: SAP ログインパスワード
 - `const_SAPUser`: SAP ログインユーザー名





SAP

✓ New password More ▾

Client	<input type="text" value="001"/>	←	<code>const_SAPClientNumber</code>
User	<input type="text"/>	←	<code>const_SAPUser</code>
Password	<input type="password"/>	←	<code>const_SAPPassword</code>
Logon Language	<input type="text" value="EN"/>	←	<code>const_SAPLanguage</code>

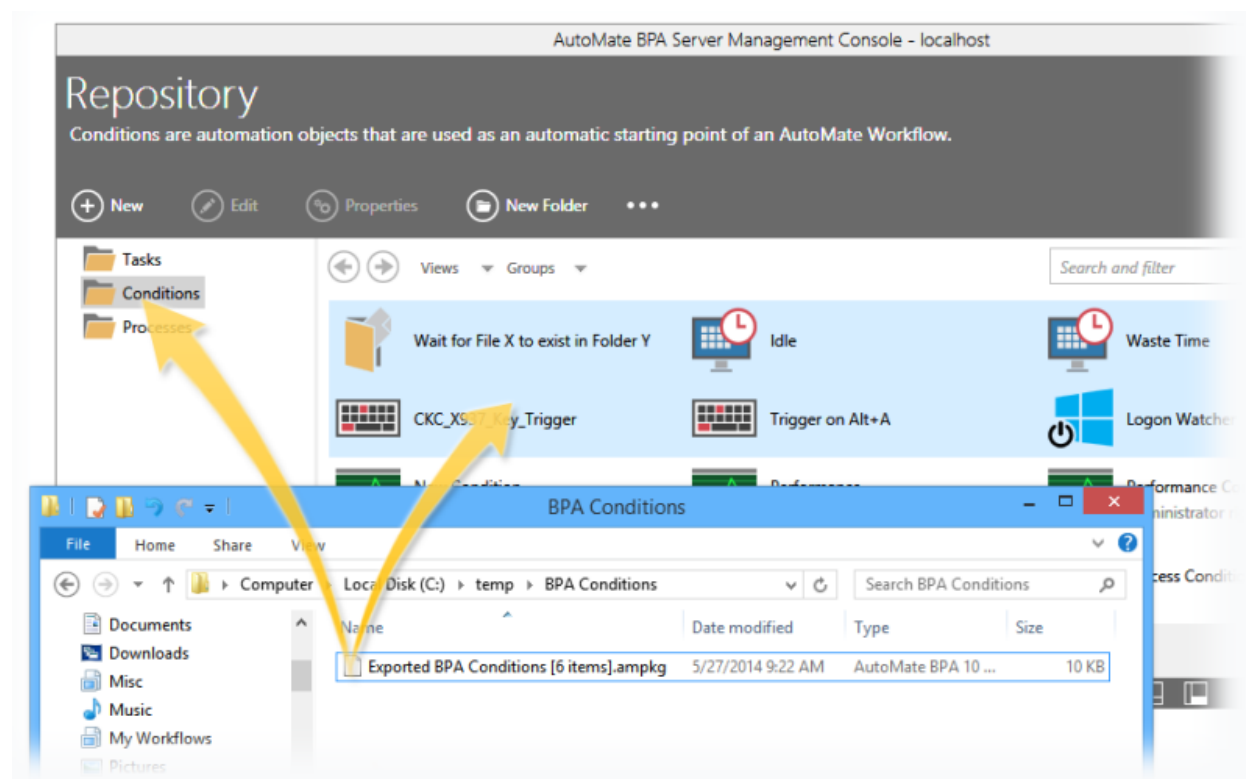


AUTOMATE タスクのインポート方法

互換性のあるファイル形式は、ドラッグ&ドロップでレポジトリに取り込むことができます。

サーバー管理 [コンソール](#) から[レポジトリ]セクションに移動します。

目的のファイルを元の場所からドラッグして、[SMC](#) 内のフォルダにドロップします。ファイルは、フォルダーアイコンまたはメインパネルにドロップすることができます（下図参照）。インポートされたオブジェクトは、自動的に対応するリポジトリの場所に配置されます。



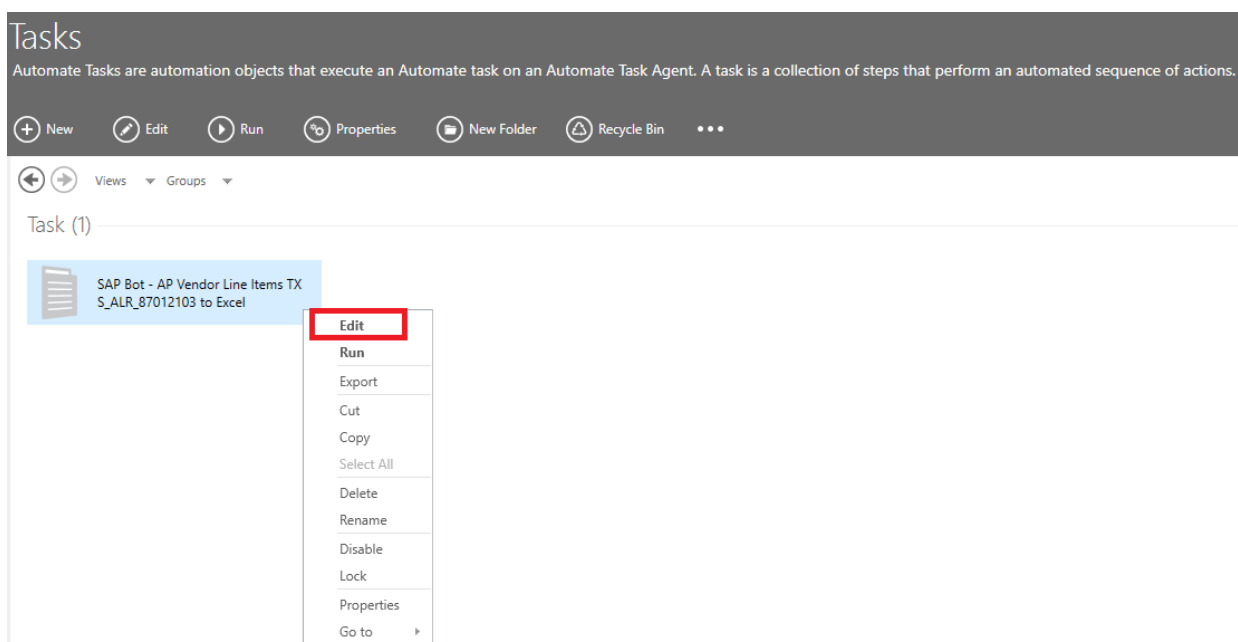


「SAP Bot -AP ベンダーラインアイテムを EXCEL に変換 TX S_ALR_87012103」の実行方法

このタスクを初めて実行する場合、いくつかのパラメータを設定する必要があります。

サーバー管理コンソールを開き、インポートしたタスクを探します。

インポートしたタスクを右クリックし、「編集」を選択して編集します。



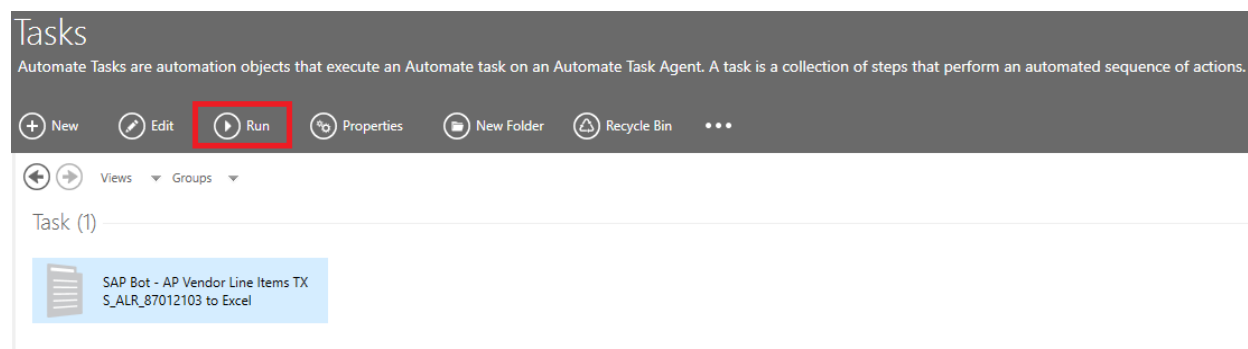
ステップ2では、希望する出力に合わせて次の変数を編集してください:

- **var_VendorAccount:** Line Items の照会先となる Customer account の識別子です。
- **var_CompanyCode:** 照会先の企業の識別子またはコード。
- **var_PostingDateFrom:** 報告期間(投稿日から)。
- **var_PostingDateTo:** 報告期間(投稿日まで)。
- **var_FilePath:** 結果のテキストファイルが作成されるパス。
- **var_FileName:** 結果の項目リストを含むテキストファイルの名前。

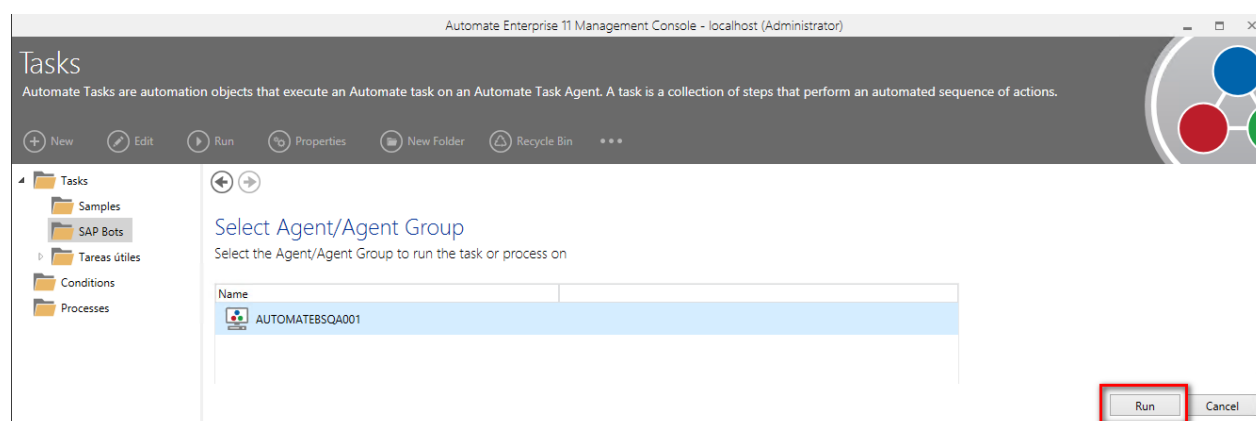
タスクを保存して閉じる



タスクを選択し、「実行」をクリック



エージェントを選択し、再度「実行」をクリックします。





< SAP List of Vendor Line Items

✓ [] 🔍 ☰ ☷ ⚙️ ∑ ½ ➕ ➖ ✂️ 📧 🗒️ 🗑️ 🔄 📄 ⓘ ⓘ Selections < > >> Cancel 📎 📅 📶 📶 More ▾

SAP SE
walldorf

List of Vendor Line Items

Time 15:55:18 Date 28.01.2020
RFKEPL00/SSPP Page 1

Assignment	Pstng Date	Type	DocumentNo	Doc..Date	BusA	Itm	PK	NP	Pbk	PM	Clearing	Clrng doc.	Discount Amount	Rcd	SG	Amount in FC	Crcy	Amount in LC	Crcy	Txt
List does not contain any data																				

[illegible]



付録 B- トラブルシューティング

- ログ: 実行毎に、トラブルシューティングのためボットはログファイルを作成します。 ログファイルは C:\Automate\Tasks\<<TASK NAME>>に保存されます。デフォルトでは、タスク名は *SAP Bot - AP Vendor Line Items TX S_ALR_87012103 to Excel*.

About HelpSystems

Organizations around the world rely on HelpSystems to make IT lives easier and keep business running smoothly. Our software and services monitor and automate processes, encrypt and secure data, and provide easy access to the information people